

福祉サービス従事者に必要な感染対策

～新型コロナウイルスの対策を中心に～

質問への回答

公益社団法人 日本看護協会 看護研修学校

認定看護師教育課程 感染管理学科教員

感染管理認定看護師 森下幸子

施設の感染対策

Q 通所施設での感染予防策について

A 利用者の健康管理として自宅を出る前に検温を行い、平熱より高い場合は休んでいただきましょう。

施設へ入る前に、検温を行い体調不良がないか等確認しましょう。もしも、通所中に体調不良を訴えた場合は、他の利用者と2m離し、家族が迎えに来るまで安静にしていいただきましょう。通所へ来られたら手指消毒または手を洗い、マスクの着用をお願いします。昼食や間食の際は、説明しましたように席を離す工夫をしてください。

また、レクリエーションも3密にならないように注意しながら、換気をして楽しいレクリエーションを企画してください。

施設の感染対策

Q 施設内で感染者が出た場合の家族への対応について

A まずは、現状を正しく説明しましょう。

そして、面会をお断りすることへの協力を求めましょう。

Q ゾーニングの具体的な事例をもう少し知りたい

A 高齢者施設における隔離の例で説明しました。

居室や廊下、トイレや洗面所をひとつの区画またはフロアを汚染エリアと非汚染エリアに分けます。

汚染エリアに入る時には非汚染エリアで、手指消毒、個人防護具を着用します。汚染エリアから出るときは、汚染エリア内で防護具を外し手指消毒を行い、非汚染エリアへ入りましょう。

利用者の体調管理

Q 平熱が高いと言われている利用者様(ご家族が発言)が
37.5℃以上あった時のどのように対応すべきか？

A 新型コロナウイルス感染症は、無症状でも人への感染力
がありとても難しい感染症です。

平熱よりも高い場合は、通所であれば休んでいただく。

入所中であれば、他の利用者と離す、個室を検討された
方が良いでしょう。

職員の体調不良 濃厚接触疑いへの対応

Q 職員本人が自身の体調に不安、もしくは、その家族が不調やその職場などで濃厚接触者やその疑わしい方といった等の場合、当施設職員にはどのような指示を出したらよいか。

A 濃厚接触者については

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryoku/dengue_fever_qa_00001.html#Q3-3

を確認してください。また、医師が必要と判断されれば検査を受ける場合もあるので、受診するように指導しましょう。

Q 職員が熱等の不調で病院へいったら薬を処方され、検査はしませんでした。回復したから出勤しますといわれましたが、出勤していい統一した目安がわかりませんので教えてください。

A 新型コロナウイルスの診断がなく症状がない方への出勤の目安はありません。しかし、一般的な発熱については解熱後48時間を確認して出勤するように指導しています。

相談窓口での感染対策

Q 不特定多数の方々に対応する相談支援事業所等の環境内での感染症対策があれば教えてください。

A 互いにマスクを常に着用し、斜めに座るなどお互いに不安にならない距離を保ちましょう。
部屋の換気にも心掛けてください。
また、手指消毒や手洗いを行いましょう。

初めての利用者宅への訪問時の感染対策

Q 地域包括支援センター職員やケアマネジャーが、突然情報のない方の家に訪問や来所対応しなければいけない場合の感染防御策について教えてほしい。

A 常にマスクを着用し手指消毒、手洗いを行いましょう。また、日頃から手指消毒をせずに、自分の首から上に触れないように心がけてください。
3密を避け、換気も忘れずに。

その他

Q 家庭内感染予防の具体的な方法を他にも何点か教えて欲しい。

A 手洗い、換気、体調不良者の隔離が必要です。

下記をご参考にしてください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/dengue_fever_qa_00001.html#Q3-3

Q 床は消毒しなくても良いとのことだが、以前テレビで床に落ちたウィルスは最大3日間の感染力があり、風圧等で舞い上がる可能性もある。と聞いたが、どうなのか。

A 人に入り感染症を起こすためには呼吸器にウィルスが入り、増えることが必要です。床の消毒をしてもウィルスは、0にはなりません、私たちが動くからです。そこに消毒薬、時間、労力を費やすよりも、最も人が感染症を発症するリスクが高い手を消毒し、マスクを着用した方が、効率的であると考えます。

その他

Q 防護服は利用者の方がかなり咳が出る状態だったら着るべきか。

A 標準予防策です。

血液や体液、排泄物等により衣服が汚れると判断すれば感染症に関係なく着用します。

Q 作業の場で多くの利用者が触る道具(カゴなど)などがある場合、どの様な点を注意すればよいか。

A アルコールや次亜塩素酸ナトリウムで消毒できない素材の場合は、触れる前に手指消毒をするように指導します。ただ、多くの人に触れるものは、アルコール、次亜塩素酸ナトリウムで消毒できる素材を選んでい頂きたいと思います。